

報道関係者 各位  
プレスリリース

2009年 5月 27日  
ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社  
代表者名 ケビン ギブソン

グローバル人材紹介会社が分析するアジア主要都市の雇用事情。  
2009年第1四半期、「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数」を発表。

専門分野に特化したグローバルスペシャリスト人材紹介会社 ロバート・ウォルターズ株式会社（本社：英国ロンドン）は、2009年第1四半期に関する同社のアジア雇用指数を発表しました。

「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数（The Robert Walters Asia Job Index）」では、日本、中国、香港およびシンガポールにおける大手求人情報サイトおよび国内紙に掲載された雇用枠に関する求人数を追跡記録しています。〈表 1-2 参照〉

#### 主要な所見:

- 2009年第1四半期に掲載された求人広告数は、2008年第4四半期と比較すると前期比6.2%の減少となるが、求人広告数は実際のところ第1四半期間に27.6%増加。
- 日本では、景気不振の影響が続いており、第1四半期に求人広告数は30%減少。
- 中国においては、ミッド・レベルならびにシニア・レベルの人材を対象とした求人広告がかなり好調。これに対して、ジュニア・レベルのポジションに関しては、コスト管理のために社内募集の形をとる傾向がさらに強まった模様。
- 香港の場合、企業における求人予算の最終承認が例年に比べて遅れたことが1月の軟調な結果に繋がった模様。しかし、一部の業種は現在、長期成長に向けて人材確保に力を入れている。
- シンガポールの場合、大幅な公共支出と主要な娯楽・インフラプロジェクトの完了が需要を後押し。
- 1四半期の結果だけを見て求人広告数の先行きについて結論を下すのは時期尚早。より確かな見通しを描くには、7月に明らかになる第2四半期の結果を待ちたい。

#### ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数

「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数」によると、2009年第1四半期の求人広告数は、2008年第4四半期と比較した場合、前四半期を小幅下回る結果となりました。今回の結果から、2つの重要な点が指摘できます。まず、アジアの求人広告市場は、2008年第4四半期を迎えるまでは、経済不況や銀行危機の影響に大きく左右されることはなかったという点。また、1月から2月初旬にかけて求人広告数が少なかったのは、中国の春節(旧正月)がその理由に挙げられます。

2009年第1四半期だけを見れば、(前月比ベースで減少しているのは日本のみ)求人広告数は、増加傾向を示しました。求職者が増加しているこの機に乗じて、非常に有利な条件で才能豊かな人材を確保しようとしている多くの企業の姿がその背景にあります。

<表1> 2008年第4四半期から2009年第1四半期の求人広告数の推移

	日本	中国	香港*	シンガポール	合計
2008年10月	109,584	1,893,481	133,547	77,192	2,213,804
2008年11月	104,115	1,794,021	105,267	66,848	2,070,251
2008年12月	83,119	1,671,946	87,432	45,742	1,888,239
<b>2008年第4四半期合計</b>	<b>296,818</b>	<b>5,359,448</b>	<b>326,246</b>	<b>189,782</b>	<b>6,172,294</b>
2009年1月	89,429	1,426,731	70,530	48,711	1,635,401
2009年2月	83,423	1,829,883	98,913	57,486	2,069,705
2009年3月	62,754	1,865,932	100,593	57,755	2,087,034
<b>2009年第1四半期合計</b>	<b>235,606</b>	<b>5,122,546</b>	<b>270,036</b>	<b>163,952</b>	<b>5,792,140</b>
<b>変化率 %</b> 2008年第4四半期-2009年第1四半期	<b>-20.6%</b>	<b>-4.4%</b>	<b>-17.2%</b>	<b>-13.6%</b>	<b>-6.2%</b>
<b>変化率 %</b> 2009年1月-2009年3月	<b>-29.8%</b>	<b>30.8%</b>	<b>42.6%</b>	<b>18.6%</b>	<b>27.6%</b>

\* 香港に関しては、キャリア・タイムズ誌に掲載された求人広告を加味し、それを調整した後の数字になっています。

<表2> 2009年第1四半期 求人広告数の推移 — 専門職種別

	日本			変化率	中国			変化率
	1月	2月	3月	1-3月	1月	2月	3月	1-3月
リテール/営業/事業開発	29,910	27,209	23,415	-21.7%	383,926	530,613	513,412	33.7%
資産管理	75	64	80	6.7%	0	2	0	0.0%
オペレーション(プロダクト、ロジスティックス)	239	234	210	-12.1%	162,773	201,029	202,784	24.6%
マーチャンダイジング/購買	2	0	3	50.0%	13,774	16,149	16,741	21.5%
弁護士/法廷弁護士/コンプライアンスオフィサー	86	95	94	9.3%	3,700	4,310	4,311	16.5%
ITスーパーバイザー/マネージャー/プログラマー/データベースアドミニストレーター	5,660	4,943	3,870	-31.6%	151,360	182,082	226,452	49.6%
人事/トレーニング	153	151	113	-26.1%	73,067	97,731	94,082	28.8%
エンジニア/検査官/建築士/技術者	15,137	13,427	11,971	-20.9%	137,280	179,090	182,041	32.6%
編集者/レポーター	103	110	78	-24.3%	38,484	46,646	45,512	18.3%
顧客サービス	64	46	48	-25.0%	29,072	31,124	29,922	2.9%
コンサルタント/アナリスト	871	714	627	-28.0%	41,414	52,191	52,998	28.0%
芸術/デザイン/クリエイティブ	1,467	1,397	1,369	-6.7%	27,678	32,028	32,139	16.1%
広告・マーケティング	322	328	320	-0.6%	159,554	209,810	215,088	34.8%
アドミニストレーション/事務/秘書	3,264	2,944	2,525	-22.6%	39,757	44,876	43,960	10.6%
経理/財務	2,052	1,876	1,503	-26.8%	103,839	130,263	131,508	26.6%
その他	30,243	30,117	16,767	-44.6%	61,053	71,939	74,982	22.8%
<b>平均値</b>				<b>-14.1%</b>				<b>23.0%</b>

	香港			変化率	シンガポール			変化率
	1月	2月	3月	1-3月	1月	2月	3月	1-3月
リテール/営業/事業開発	8,405	11,981	12,541	49.2%	7,032	8,330	8,124	15.5%
資産管理	899	1,191	1,123	24.9%	366	462	444	21.3%
オペレーション(プロダクト、ロジスティックス)	3,502	5,044	5,265	50.3%	3,223	3,857	4,131	28.2%
マーチャンダイジング/購買	3,774	6,346	5,374	42.4%	460	555	625	35.9%
弁護士/法廷弁護士/コンプライアンス オフィサー	474	621	629	32.7%	249	332	292	17.3%
IT スーパーバイザー/マネージャー/プログラマー/データベース アドミニストレーター	4,966	6,813	6,090	22.6%	5,187	5,741	5,254	1.3%
人事/トレーニング	1,076	1,384	1,295	20.4%	2,640	3,041	2,966	12.3%
エンジニア/検査官/建築士/技術者	6,487	10,162	10,412	60.5%	7,767	9,527	9,748	25.5%
編集者/レポーター	226	379	389	72.1%	112	162	179	59.8%
顧客サービス	1,861	2,275	2,533	36.1%	1,843	2,202	2,451	33.0%
コンサルタント/アナリスト	2,038	2,660	2,788	36.8%	953	1,123	1,008	5.8%
芸術/デザイン/クリエイティブ	1,487	2,441	2,136	43.6%	796	1,004	1,027	29.0%
広告・マーケティング	4,115	5,592	5,643	37.1%	2,354	2,786	2,684	14.0%
アドミニストレーション/事務/秘書	6,504	9,904	9,653	48.4%	3,682	4,148	3,910	6.2%
経理/財務	12,243	14,718	16,470	34.5%	7,616	9,005	8,587	12.7%
その他	13,978	19,464	20,190	44.4%	5,535	6,708	7,306	32.0%
平均値				41.0%				21.9%

## 市場の解説

年初、求人広告はアジア全般に亘り非常に低調でした。これは、中国の春節に代表されるような祝祭期間の影響に因るところが大きい季節的な傾向です。実際、2月に入ると、求人広告数は大幅な増加を見せました。

2009年第1四半期の結果を以って、2008年第4四半期に見られた求人広告数の減少傾向が反転に転じ、今後増加傾向が持続的に続くかと判断するのは時期尚早です。求人広告数は、依然として前年同期を大幅に下回る状態にあります。しかし、第1四半期に見られた増勢が続くのか否か、業界アナリストは2009年第2四半期の結果に注目するものと思われまます。

ロバート・ウォルターズ・アジア(日本を除く)マネージング・ディレクター、マーク・エルウッド (Mark Ellwood)は、以下のように述べています:「第2四半期や第3四半期に比べると、第1四半期における企業の求人は伝統的に低調です。これは、企業が、予算の承認、人員数の確認そして賞与の支払いを待ってから具体的な求人活動に動くからです。加えて、中国の春節というカレンダー要因の影響もあります。さらに、今年について言えば、世界的な経済不況が多くの企業の雇用・採用決定に影響を及ぼしています。但し、確かに、求人広告数は12ヵ月前の水準を明らかに下回ってはいますが、2008年第4四半期からさらに大きく落ち込んでいるわけではありません。一般的な傾向として、第2四半期と第3四半期は、1年の中で求人が活発になる時期です。そういう意味で、アジア市場において求人広告数が第2四半期に増加を見せるのかどうか注目したいと思います。」

第1四半期を振り返って見た場合、日本は改めて言うまでも無く、現在厳しい経済状況にあります。第1四半期も、経済見通しの悪化が続きました。このような状況を考えれば、求人広告数がさらに落ち込み、調査対象としているアジア市場の中で日本が最悪な結果に終わったのも意外なことではありません。輸出主導型経済であるために、海外の個人消費への依存度は、他のアジア諸国に比べて顕著であります。会計や財務といった分野は、これまで経済が苦しい局面にあってもその影響は比較的皆無と考えられてきましたが、これらの分野においても求人広告向けの支出は減少しています。こうした中にあっても、求人が好調な分野があります。例えば、製薬業界。日本において高齢化が進む中、製薬業界は引き続き求人者に積極的です。市場シェアの拡大を図るために、創造性豊かな人材に対する需要は今も続いています。

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社、代表取締役社長ケビン・ギブソン(Kevin Gibson)は、以下のように述べています:「**現在、就職希望者の間で長い目で見て雇用の安定性が高いと評価されているのは公共性の強い業種です。このような状況下、就職する上で最良の会社は鉄道会社や公益事業会社と考えられています。これに対して、伝統的な大企業に対する評価は、若年層の間では大幅に低下しています。現在、就職活動中の求職者の中には柔軟な姿勢をみせている非常に有能な方がいます。これは、先を見通した企業経営者にとっては、間違いなく好機と言える状況でしょう。**」

中国の場合、企業の求人広告の内容を見ると、募集はミドル・レベルからシニア・レベルのマネジメント・ポジションに集中しています。これは、中国へ進出している外国企業が、事業成長を下支えるために質の高い人材の確保を切望しているだけでなく、海外事業の拡大を図る国内企業も優秀な人材を求めているからです。対照的に、ジュニア・レベルのポジションについては、コスト管理のために、社内募集の形をとる傾向がさらに強まりました。香港と同様に、春節の影響で2009年1月の求人広告数は2008年12月を下回る結果となりましたが、2月、3月には求人活動は盛り返し、分野別では小売り(特に奢侈品)や娯楽・ホテルが幾分好調でした。また、事業展開に不可欠なITを中国へアウトソースしている主要な多国籍企業(例えば、アクセンチュア、IBM、ヒューレット・パカードなど)の間では、スキル重視の観点から、情報技術分野における専門家の求人需要に特に大幅な増加が見られました。

ロバート・ウォルターズ・チャイナのディレクター、カーター・ヤン(Carter Yang)は、以下のように述べています:「**ジュニア・レベルのポジションに関する求人には気がかりな点が見られますが、ミッド・レベルからシニア・レベルにかけてのマネジメント・ポジションについては、優秀な人材を求めて企業からの求人需要が非常に旺盛です。長い目で見た場合、中国の経済見通しは依然として比較的良好です。大半の業種は、第1四半期末には求人広告のための支出拡大に動いています。**」

香港では、求人が最も低調だったのは1月でした。伝統的に1月は、クリスマスと中国の春節の影響が重なり、1年を通して見た場合、求人が最も低調な月の一つに挙げられます。これに加えて、今年は、前年の11月末までに一般に完了しているはずの求人予算の最終承認が大半の企業において遅れたことも影響しました。しかし、2月に入ると企業の求人活動は1月の低水準から大幅に盛り返し、こうした傾向は3月も続きました。これまで余剰人員整理を行ってきた企業が、(特にミッド・レベルからシニア・レベルにおける人材確保のために)雇用・採用意欲を高め始めているためです。業種別に見た場合、求人が堅調だったのは、香港経済にとって常に重要な分野に位置づけられる、リテール関連(特に、医療関連、美容関連、日用消費財)でした。また、情報開示や法令順守の責任が増す中、法務・コンプライアンスそして会計・財務分野における求人充足もとりわけ積極的です。

ロバート・ウォルターズ・ホンコンのディレクター、マシュー・ベネット(Matthew Bennett)は、以下のように述べています:「**スロースタートを経て、一部の企業は、コスト削減から再び収益性そして事業の成長性に視線を向け始めています。余剰人員は、社内で人材を回してポジションをうめる傾向を生む結果になりましたが、同時に職を求める有能な人材が市場に溢れ出し、採用する側としては有利な条件で人材を確保できる機会の拡大にも繋がっています。つまり、これは、人材確保を狙う企業が現在、有利な立場にあることを意味しています。**」

シンガポールについて言えば、中国の春節は、ある程度の影響を及ぼしはしましたが、影響は顕著なものではありませんでした。一部の業種では3月末に向かうにつれ求人活動に拡大の兆しが散見されましたが、全体としては第1四半期の求人広告数に大きな変化は見られませんでした。コスト管理および新たな規制・情報開示基準遵守の必要性から、会計士が求められています。転職のリスクを冒すよりも既存のポジションに留まることを選ぶ会計士が多い中、採用サイドにとって会計士の確保は容易ではなかった模様です。幾つかの大型カジノ・娯楽施設プロジェクトの完了を受けて、小売りおよび娯楽分野ではビジネス・デベロップメントを担う専門家を求める動きが見られました。さらに、インフラ・プロジェクト向けにかなりの政府支出が割り振られ、これはエンジニア、設計士そして技術者の求人需要の増加に繋がりました。

ロバート・ウォルターズ・シンガポールのマネージング・ディレクター、アンドレア・ロス(Andrea Ross)は、以下のように述べています:「**2008年第4四半期を上回るような、求人広告数の大幅な落ち込みは見られません。しかし、求人需要が大幅に増加したわけでもありません。この点を認識しておくことが大切でしょう。企業の求人が引き続き事業拡大よりもコスト削減に焦点を置いたものであることを示唆する証左が今なお見受けられます。今後の見通しを見極めるにはさらなるデータが必要で、第2四半期の結果に関心を寄せています。**」

#### 編集者への注釈

ロバート・ウォルターズは、アジア市場における大手スペシャリスト人材紹介会社であり、現在、日本、中国、香港、シンガポール、マレーシアおよびタイを対象とした拠点を保有しています。

#### データの情報源

ロバート・ウォルターズは、主にミドルからシニアエグゼクティブクラスに関する人材紹介に特化しています。市場の該当セグメント全体について主要な傾向を解説できる能力を有しています。「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数」では、以下を対象とした雇用セクションの情報数を追跡しています：

<b>日本</b>  Asahi Shinbun (Sunday & Monday morning edition) Nihon Keizai Shinbun (Sunday morning edition) rikunabi-next.yahoo.co.jp doda.jp employment.en-japan.com www.indivision.jp www.careercross.com/en	<b>中国</b>  www.chinaHR.com www.zhaopin.com career.ceconline.com www.jobchina.net china.recruit.net
<b>香港</b>  Classified Post Career Times (Friday Edition) www.careertimes.com.hk www.monster.com.hk www.jobmarket.com.hk www.jobsdb.com.hk www.classifiedpost.com www.jobs.gov.hk/eng	<b>シンガポール</b>  Straits Times (Daily) www.jobstreet.com.sg www.monster.com.sg www.jobscentral.com.sg www.jobsDB.com.sg www.ST701.com.sg

#### 詳細に関するお問い合わせ(英語)：

<b>Robert Walters</b>	
Richard Parnell (リチャード パネール) CEO, Robert Walters Asia Pacific	Tel. +61(0)2 8289 3100
Kevin Gibson (ケビン ギブソン) Managing Director, Robert Walters Japan	Tel: +81(0)3 4570 1524
Mark Ellwood (マーク エルウッド) Managing Director, Robert Walters Asia (ex.Japan)	Tel. +65 6228 0200

#### ◆ ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数の詳細

更に詳しい情報は、ロバート・ウォルターズのアジア雇用指数（英語）をご覧ください。

[www.asiajobindex.com](http://www.asiajobindex.com)

#### ◆ ケビン ギブソンのプロフィール

ケビン ギブソンのロバート・ウォルターズでのキャリアは1994年ロンドンの派遣・契約チームより始まる。様々な海外赴任の経験を経て、2001年 ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社の代表取締役社長に就任。

詳細はこちら：[http://www.robertwalters.co.jp/company/bio\\_kevin.html](http://www.robertwalters.co.jp/company/bio_kevin.html)

## ◆ ロバート・ウォルターズについて

ロバート・ウォルターズ株式会社は、1985年、英国ロンドンにて設立され、世界5大陸17カ国の主要都市に38の事業所を有するグローバル人材紹介会社です。

日本では、2000年より事業を開始し、全ての業界を対象に、専門分野に特化した人材紹介および人材派遣サービスを提供しています。

当社は、日系中小企業から大手企業、世界有数のグローバル企業に至るまで、幅広い層のクライアント企業と取引があります。

人材紹介の業種と職種は多岐に渡り、銀行・証券、投資、不動産・保険、経理・財務、IT、法務・コンプライアンス、営業・マーケティング、人事、秘書・サポート業務、物流・購買・サプライチェーン、リテール、サービス業、医療・医薬・バイオ分野を専門としています。

## 【関連リンク】

ロバート・ウォルターズのプレスリリース一覧

[http://www.robertwalters.co.jp/company/p\\_release/index.html](http://www.robertwalters.co.jp/company/p_release/index.html)

ロバート・ウォルターズのニュース一覧

<http://www.robertwalters.co.jp/news/index.html>

## 【会社概要】

- 会社名 ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
- 代表者 代表取締役社長 ケビン・ギブソン (Kevin Gibson)
- 資本金 1,400万円
- 設立 2000年1月4日
- 所在地 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目12番18号 渋谷南東急ビル14階
- TEL 03-4570-1500 (代表)
- FAX 03-4570-1600
- URL <http://www.robertwalters.co.jp>
- Email [info@robertwalters.co.jp](mailto:info@robertwalters.co.jp)
- 事業内容 人材紹介・人材派遣・人材コンサルティング業務

## 【本件に関するお問い合わせ】

- 会社名 ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
- 担当者 佐々木 智子
- TEL 03-4570-1598
- FAX 03-4570-1600
- Email [Tomoko.Sasaki@robertwalters.co.jp](mailto:Tomoko.Sasaki@robertwalters.co.jp)